学校番号	３２０

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代社会」　（東京書籍）						
副教材等	世の中の動きに強くなる　ライブ！現代社会２０２１　（帝国書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒の主体的な学習と、現代の社会に対する関心を高め意欲をもって考察させることを重視して授業を行う。そのため、生徒自身の考えをまとめたり、発表したりする活動を多く入れる。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄に関心を高め，意欲的に追究しているか。 ○社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。 ○平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加,協力する態度を身に付けているか。	○現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄から課題を見いだし，広い視野から多面的，多角的に考察しているか。 ○課題について社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。	○ 現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，学び方を身に付けているか。	○現代社会の政治，経済，社会，国際関係，人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し，その知識を身に付けているか。また，学び方を身に付けているか。
評価方法	ワークシート	発問・定期考査	ワークシート・定期考査・ノート	発問・定期考査・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第1部　わたしたちの生きる社会	1. 地球環境問題 ○地球環境問題について多面的に理解し，持続可能な開発に向けた課題について考察します。 ○温暖化対策にかかわる国家間の利害の対立と調整を，幸福，正義，公正の観点から考察します。		○	○	○	a.地球環境問題や資源エネルギー問題に対する関心を高め，その現状などについて意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 b.地球環境問題に対する国際的な取り組みの現状と課題について，関連資料を活用しながら多面的・多角的に考察し，幸福・正義・公正などの観点を踏まえて，適切に表現している（発問評価）。 c.地図や統計資料などを収集・活用し，情報を適切に選択しながら，地球環境問題や資源エネルギー問題の現状などを正確に読み取る力を身に付けている（提出課題）。 d.地球環境問題と資源エネルギー問題に関連する総合的な知識を身に付けている（定期考査）。	定期考査 ノート ワークシート 発問
		2. 資源･エネルギー問題 ○資源･エネルギー問題について多面的に理解し，低炭素社会の実現のための課題について考察します。 ○持続可能なエネルギー利用の実現について，幸福，正義，公正の観点から考察します。		○	○	○		
		3. 科学技術の発達と生命 ○医療技術の発達が生命倫理の課題をもたらしていることを理解し，臓器移植や再生医療の進歩，バイオテクノロジーの進歩と生命操作などについて考察します。 ○クローン技術や遺伝子組み換え技術がもたらす課題を幸福，正義，公正の観点から考察します。		○		○	a.生命科学と情報技術の課題に関心をもち，自らとの関わり方について意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 d.生命科学と情報化社会に関する基本的な事項・知識や学び方を身に付けている（定期考査）。	

1学期期末	第2部　現代の社会と人間	4. 情報化の進展と生活 〇情報化の進展が生活や社会の変化に及ぼした影響を理解し，情報化社会の課題や未来について考察します。 1. 現代社会と青年 〇現代社会の特徴であるグローバル化の進展や少子高齢化と人口減少の進行について具体的に理解し，今後の社会における課題や，青年とのかかわりについて考察します。 2. 青年期の発達課題 〇青年期の心理的，社会的な特色を理解すると同時に，現代社会に特有の青年の在り方について考えます。また，アイデンティティ確立に向けた課題について考察します。 3. 自己形成と社会のかかわり 〇欲求と適応行動の関係について理解し，青年期におけるパーソナリティの形成やボランティアなどの社会との関わりの意義について考察します。 4. 進路と生きがいの構造 〇キャリアとキャリア開発の意義について理解し，進路の選択と学習や経験の役割や生きがいとの関係について考察します。	 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇	 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇	a. 自己形成の課題を意欲的に追究し，自己の生き方について考察しようとしている（授業態度）。 b. 自己形成や生き方について，幸福・正義・公正などの観点から多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している（発問評価）。 c. メディアを通してさまざまな資料を収集し，効果的に活用している（提出課題）。 d. 生涯における青年期の意義，社会参加などについて理解し，その知識を身に付けている（定期考査）。	定期考査 ノート ワークシート 発問

2学期中間	第2章 日本国憲法と民主政治	１．民主政治とは ○民主政治がヨーロッパで生まれた経緯や社会契約説，権力分立の思想，議会制民主主義の成立と仕組みについて理解します。 ○基本的人権や法の支配，立憲主義の意義，自由権から社会権へ向かう人権の歴史的展開について理解します。 ○議院内閣制と大統領制の特色を三権の関係などの視点から理解するとともに，社会主義国の政治体制について理解します。 ２．日本国憲法の基本原理 ○大日本帝国憲法の性格を学ぶとともに，日本国憲法が制定されるまでの経緯について学習し，日本国憲法の三大原理について理解します。 ○日本国憲法における人権保障の基本的な考え方や法の下の平等の意義，自由権的基本権について理解します。 ○社会権的基本権の意義，生存権，教育を受ける権利，勤労権などの内容について理解します。また，基本的人権を実現するための権利などについても学習します。 ○環境権，プライバシーの権利，知る権利，アクセス権，自己決定権などの新しい人権について性格を理解するとともに，人権保障の広がりについて考えます。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a. 民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 b. 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している（発問評価）。 c. 現代政治の特質に関する情報を収集し，適切に活用できる（提出課題）。 d. 民主政治の基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている（定期考査）。 a. 主権者として憲法成立過程と基本的人権，平和主義の内容を意欲的に追究しようとしている（授業態度）。 b. 人権問題，安全保障の問題を多面的・多角的に考察し，根拠と考察を様々な方法で表現している（発問評価）。 c. 人権や安全保障の問題の時事的な資料を収集し，適切に活用できる（提出課題）。 d. 憲法が普遍性を持つことに気づき，人権が生まれながらの権利であること，他者の権利を尊重することを理解し，知識を身に付けている（定期考査）。	定期考査 ノート ワークシート 発問

2学期期末	第2章　日本国憲法と民主政治	3. 日本の政治機構 国会と立法 〇三権の相互関係について理解し，国会の役割と権限，二院制をとっている国会の構成と運営，現状と改革の動きについて学習します。 内閣と行政 〇議院内閣制の仕組み，内閣の権限と国の行政組織を理解するとともに，行政にかかわる課題について考察します。 裁判所と司法 〇訴訟の種類，司法権の独立の意義と内容，日本の裁判制度，「憲法の番人」としての裁判所，裁判員制度などの司法制度改革について理解します。 地方自治 〇民主政治における地方自治の意義を確認すると同時に，地方公共団体の組織と働きなどについて理解し，地方自治と国政との関係，住民の政治参加の意義などについて考察します。 4. 現代政治の特質と課題 選挙のしくみと課題 〇近代選挙の四原則，選挙制度の概要，日本の選挙制度の仕組みについて理解し，「一票の格差」など選挙制度をめぐる課題について考察します。 政党と利益集団 〇民主政治における政党や利益集団の意義と役割，現状と課題について考察します。 世論と政治参加 〇世論の意義を理解し，世論とメディアとの関係，大衆化した社会における政治意識などについて考察します。	〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇	〇	〇 〇	a.現代政治への関心が高まり，主権者意識が身に付いている（授業態度）。 b.政治について考察し，政治の在り方を公正に判断し，その結果を適切に表現している（発問評価）。 c.主権者として判断に必要な情報を適切に選択し，活用している（提出課題）。 d 日本の政治制度について理解し，その知識を身に付けている（定期考査）。	定期考査 ノート ワークシート 発問

学期末	第3章　現代社会と法	１．現代社会と法 法の働き 〇法の特色，法の種類，法と道徳や正義との関係，法の支配の意味について理解します。 社会生活と法 〇家族法の規定や私法における近代法の原則などを例に，社会生活における法の意義を理解します。また，経済生活や紛争の調整と解決に法がどのような役割を果たしているかについて考察します。 司法と人権 〇刑事司法の意味や原則，刑事裁判の制度，裁判員制度について理解し，日本の司法と人権の課題について考察します。	〇 〇 〇	〇 〇		〇 〇 〇	a.国際政治への関心が高まっている（授業態度）。 b.国際政治の課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している（発問評価）。 d.国際政治を理解し，その知識を身に付けている（定期考査）	定期考査 ノート ワークシート 発問

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。